

株式会社 野本建設

DX宣言書

2024年11月8日
株式会社 野本建設
代表取締役 野本 一隆

□ 経営理念

己に利あらんと欲すれば、まずは他に利あらしめよ
利は心の利、健康の利、そして財の利

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用し生産性を向上させるとともに、社員の主体性を引き出し、働きやすく成長できる職場環境を実現します
- ◆ 業務効率化とノウハウ共有を進め、そこで得られた時間をクリエイティブな業務に充てることで、高品質で魅力的な商品を提供し顧客満足度の向上を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年4月)

戦略 「情報の一元管理と業務の効率化に向けた基盤作り」

- 施策
- ・ ノウハウ共有のため、過去に作成されたマニュアル、チェックリストを整理・最新化
 - ・ 施工管理システム・オーナーサポートツールを最大限活用できるよう運用方針を策定
 - ・ 情報の一元管理を実現するため、まずは施工管理システムのチャット機能から活用を開始
 - ・ 住宅履歴情報を活用する対象業務や、具体的な活用イメージを明確化
 - ・ 情報共有やデータ利用に関するルールを明確にし、社内へ周知
 - ・ オーナーサポートLINEを顧客へ周知

➤ フェーズ2(2025年5月 ～ 2026年4月)

戦略 「導入済みシステムの活用推進と、住宅履歴情報のデータベース化に向けた計画策定」

- 施策
- ・ 更なる業務効率化を図るため、施工管理システムの活用範囲を拡大
 - ・ ユーザマニュアル整備や勉強会開催等、システムの活用定着化サポートを実施
 - ・ DX推進チームが主体となりシステム利用に関する意見交換会を開催し、必要に応じて改善案を検討
 - ・ 住宅履歴情報のデータベース化に向け、データの整理やデータ登録の優先順位付けを行い、具体的な作業スケジュールを策定

➤ フェーズ3(2026年5月 ～ 2027年10月)

戦略 「生産性向上による商品の付加価値創造と、住宅履歴情報のデータ活用による顧客満足度向上」

- 施策
- ・ 施工管理システムの活用によるスムーズな現場管理と情報共有の徹底
 - ・ クレームや設計施工上の問題点を無くし、高いレベルでの品質(意匠・性能・仕上がり)を確保
 - ・ 住宅履歴情報のデータベースを構築し、対象データを順次登録
 - ・ データベースを社内共有し、担当者以外でも顧客修繕履歴等に基づいた適切なアフターフォローが可能な環境を構築
 - ・ データベースは社内外からアクセス可能にし、出張先でも必要な情報を確認できる安全な環境を整備

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 意見交換会の開催 : 年2回(2025年11月～)
- ・ 住宅履歴情報のデータベース化 : 完了(～2027年10月)